戸田市　施策評価シート

作成日	令和元年 5月20日	作成者名	五條　宏	評価者名	駒崎　稔

１．施策の位置づけ　＜PLAN＞

基本目標	08 着実な総合振興計画の実行に向けて	中心となる課	財務部・資産経営室
分　　野	03 効率的な行政運営	関係課	
施　　策	89 施設の計画的な管理		
施策の目的	市民が安心安全に施設を利用できるように、市の財産である公共施設を適正かつ効率的に管理します。また中長期的な財政運営の観点から、施設の長寿命化など持続可能な行政財産の管理を行います。		

２．施策の主な取り組み　＜DO＞

取り組み①	ファシリティマネジメント事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

３．施策の指標における成果（主な指標）＜CHECK＞

指標名	指標の説明（算　定　式）	単位	目標値	達成値					
				Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０	Ｒ１	Ｒ２
公共施設等総合管理計画の策定	公共施設等総合管理計画の策定			作成	作成完了				
公共施設再編プランの策定及び進捗管理	公共施設再編プランの策定			作成	作成完了				
公共施設再編プランの進捗管理	公共施設再編プランの進捗状況（再編達成した施設数（累積数））	件	9	－	－	1	3		
その他施策の取組事項に係る成果									

４．施策の展開　＜ACTION＞

課題	多くの公共施設が老朽化し、今後の施設の維持管理・更新に莫大な費用が必要となることから、インフラを含めた公共施設等を計画的に維持管理・更新するための基本方針である「公共施設等総合管理計画」及び公共建築物に関する具体的な再編計画である「公共施設再編プラン」を策定した。今後は、本プランの行動計画に基づく各施設の具体的な取組が本格化していく中で、市民や施設所管課等との合意形成が課題となってくる。また、再編実施時期までの間、公共施設を安心安全に利用できるよう、長寿命化に向けた大規模改修についても、多くの施設で実施する必要がある。	対応策	「公共施設再編プラン」の具体的な取組である行動計画の実行性を高めるためには、仕組みづくり及び施設管理職員の意識醸成と市民の理解が必要不可欠ある。そのためには、公共施設の現状や課題を不断に情報発信し、理解を促していく。再編検討に当たっては、施設全体最適の視点から施設所管課のコーディネート役として、運用要領を適宜見直し運用していくとともに個別事業に対して積極的に後押ししていく。また、公共建築物の長寿命化に向けて、対象施設の工事等の現場調査やヒアリング等を踏まえ「中期計画」を更新し、計画的かつ効率的に実施するとともに、財政負担の軽減及び平準化を図っていく。

○結果と今後の方向性　（シート作成次長記入）

進捗状況（Ａ躍進中、Ｂ予定通り、Ｃ遅れ気味） B	説　明（総評）	公共施設再編プランの進捗状況としては、戸田公園駅前出張所及び観光情報館トビックの再編、介護老人保健施設の指定管理者制度導入の２事業を予定どおり達成した。 また、公共建築物の建替え及び大規模改修は「中期計画」に基づき計画的に実施した。
今後の方向性（人員/予算）（↑増加、→維持、↓削減） ↑	説　明（人員/予算）	引き続き、公共施設については「公共施設再編プラン」に基づき具体的な施設再編を進めていくとともに、５年に１度実施している公共施設の健全度調査を委託にて実施する。公共施設の増改築や大規模改修については、中期計画をローリングし計画的に実施する。そのほか、個別施設の諸課題への対応など、施策全体の繁忙期は暫く継続していく。

（評価者コメント）

「公共施設再編プラン」については、行動計画運用要領を一部見直し、効果的に再編を推進できるようにした。また、当該プランに基づく行動計画については計画どおり進捗している。引き続き、行動計画の進捗管理を行うことにより、公共施設全体の更新・統廃合・長寿命化等を「全体最適」の理念のもと長期的視点をもって計画的に行い、財政負担を軽減・平準化していく。また、建築工事についてもＦＭの視点を活かした良質かつ低廉な設計仕様となるよう努めていく。

戸田市　施策評価シート

作成日	令和元年 5月20日	作成者名	五條　宏	評価者名	駒崎　稔

５．事務事業の検討　【一般会計】

（単位：千円）

大事業	中事業	事務事業名 / 事業コード / 事業内容	事業区分	事務事業評価の結果 H30決算額 / R1予算額 / R2計画額 / 事業費 / うち一般財源 / 人件費	事業の方向性	実施計画候補	評価結果 施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性	★事務事業の方向性 事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度	コメント	R2予算額 事業費	うち一般財源
01 庁用車管理費　（資産経営室）																
	01	庁用車管理費 01 02 01 06 01 01 〇車両の安全管理 〇新規導入車両の計画	任意	10,100 15,474 15,474 15,474 2,729	1		B	B	B	B	1		B	公用車の必要台数と必要車種について、適切に判断していくとともに、自転車利用を促していく。	0	0
02 庁舎管理費　（資産経営室）																
	01	庁舎管理費 01 02 01 06 02 01 庁舎及び付帯設備の維持管理 。庁内案内・庁舎警備・防火	任意	207,303 197,127 366,337 364,428 14,806	2		B	B	B	B	2		B	庁舎の有効活用や利便性向上に向けて、設備改修を適時進めていく。	0	0
03 公有財産管理費　（資産経営室）																
	01	公有財産管理費 01 02 01 06 03 01 財産の保険契約及び管理に関 すること。市有地の使用許可	任意	14,408 21,537 21,537 21,534 9,484	1		B	B	B	B	1		B	引き続き、適切な公有財産管理を推進し、有効活用について検討していく。	0	0
04 ファシリティマネジメント事業　（資産経営室）																
	01	ファシリティマネジメント事業 01 02 01 06 04 01 公共施設再編の推進。 公共施設中長期保全計画に基	任意	5,652 9,936 29,362 29,362 54,379	2	〇	A	B	B	B	2	〇	A	引き続き、ＦＭを推進するとともに、Ｒ２年度は、５年に１度の公共施設健全度調査を実施する。	0	0

計（千円）		H30決算額	R1予算額	R2計画額	R2予算額
	事業費	237,463	244,074	432,710	0
	うち一般財源	237,463	242,162	430,798	0

事業の方向性：１現状で継続　２拡大して継続　３縮小して継続　４他事業と統合　５休止　６その他見直し
７令和2年度で終了　８令和元年度で終了　９平成30年度で終了